

令和4年度資金計画について

- 9月末時点における推計では、4年度末の資金は、4千6百万円余、一時的に不足する見込である。
この要因としては、通年にわたり実施している各種技術指導相談事業の収入が、完成検査との関係から、自治体の出納閉鎖期間(5年4月～5月)にずれ込むことによるものである。

表1：令和4年度資金計画の実績と見込

勘定科目	R4年度下期執行見込												
	前月繰越	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①現金・預金等	22,213,890	190,243,510	-135,859,044	2,813,489	-9,454,685	-14,958,936	-15,565,707	-11,325,137	-14,597,996	-21,448,088	-29,075,873	-11,540,827	2,914,330
②当月金銭債権	88,018,622	-86,300,500	-1,718,122	405,900	0	1,436,500	0	0	1,650,800	0	0	1,650,800	-4,471,400
③当月金銭債務	48,484,159	101,584,149	-149,352,198	409,660	622,988	-952,324	-77,264	931,925	-955,505	717,326	-929,538	196,782	730,250
④資金収支計	61,748,353	2,358,861	11,775,032	2,809,729	-10,077,673	-12,570,112	-15,488,443	-12,257,062	-11,991,691	-22,165,414	-28,146,335	-10,086,809	-2,287,320
資金残高	61,748,353	64,107,214	75,882,246	78,691,975	68,614,302	56,044,190	40,555,747	28,298,685	16,306,994	-5,858,420	-34,004,755	-44,091,564	-46,378,884

単位：円

- 上記の4年度資金不足に対応して、令和4年12月以降5千万円の範囲内での借入を実施する。(表2参照)

借入額：50,000,000円

借入先：みずほ銀行

借入期間：令和4年12月～令和5年4月末日

表2：令和4年度資金不足への対応策

勘定科目	R4年度上期実績												
	前月繰越	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①現金・預金等	22,213,890	190,243,510	-135,859,044	2,813,489	-9,454,685	-14,958,936	-15,565,707	-11,325,137	-14,597,996	28,551,912	-29,075,873	-11,540,827	2,914,330
②当月金銭債権	88,018,622	-86,300,500	-1,718,122	405,900	0	1,436,500	0	0	1,650,800	0	0	1,650,800	-4,471,400
③当月金銭債務	48,484,159	101,584,149	-149,352,198	409,660	622,988	-952,324	-77,264	931,925	-955,505	717,326	-929,538	196,782	730,250
④資金収支計	61,748,353	2,358,861	11,775,032	2,809,729	-10,077,673	-12,570,112	-15,488,443	-12,257,062	-11,991,691	27,834,586	-28,146,335	-10,086,809	-2,287,320
資金残高	61,748,353	64,107,214	75,882,246	78,691,975	68,614,302	56,044,190	40,555,747	28,298,685	16,306,994	44,141,580	15,995,245	5,908,436	3,621,116
借入金(50,000,000)										(50,000,000)			

単位：円

注記 ① 現金・預金等：現金・当座預金・普通預金・郵便振替

② 当月金銭債権：未収入金、前払金、仮払金

③ 当月金銭債務：未払金、前受金、預り金、仮受金

④ 資金収支：現金・預金等+短期金銭債権-短期金銭債務